

2023年10月3日

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコ
代表者名 代表取締役社長 伊 藤 貴 俊
(東証プライム市場・コード 8892)

2023年GRESBリアルエステイト評価結果に関するお知らせ

今般、2023年実施のGRESB^{※1}リアルエステイト評価における「ディベロップメント・ベンチマーク」(報告期間：2022年1月1日～2022年12月31日)^{※2}において、「2 Stars」及び5年連続で「Green Star^{※3}」を取得いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

目的・概要

当社は、重要な経営戦略として「ESG推進による社会課題への対応」を掲げ、その活動の一環として、不動産セクターのESG配慮を測る年次のベンチマーク評価であるGRESBに2018年より毎年参加しております。

その結果、「ディベロップメント・ベンチマーク」における環境への配慮やサステナビリティへの取り組みについて、総合スコアでの相対評価に基づく5段階評価のGRESBレーティングにおいて、「2 Stars」の評価となりました。また、「マネジメント・コンポーネント」及び「ディベロップメント・コンポーネント」の双方において優れていることを示す「Green Star」を、5年連続で取得いたしました。

当社はこれまで、環境に配慮したZEH^{※4}対応のマンション開発をはじめ、地域の活性化を目指した地域密着型商業施設「tonarie」の開発、「企業版ふるさと納税」を活用した北海道北広島市への支援、「IPS細胞研究基金」「癌免疫学寄附講座」への寄附、「健康文化醸成チーム」による健康経営推進等、様々な角度からESG活動に取り組んでおります。

2023年7月には「サステナビリティ推進部」を新設しており、今後もESG活動に積極的に取り組み当社グループの持続的成長を目指してまいります。



- ※1. GRESBとは、不動産セクターの環境・社会・ガバナンス(ESG)配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織であり、責任投資原則(PRI)を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に2009年に創設されました。
- ※2. GRESB評価の一つであるGRESBリアルエステイト評価とは、不動産会社、ファンドごとのサステナビリティへの取り組みを評価するものであり、その中で「ディベロップメント・ベンチマーク」とは、新規開発・大規模改修を主業とする参加者のために実施されるベンチマーク評価です。2020年から、新規開発・大規模改修のみでなく既存物件運用も行う参加者についても、新規開発・大規模改修部分のみの評価が与えられるようになり、ベンチマークの母数が大幅に増加しております。
- ※3. 「ディベロップメント・ベンチマーク」における「Green Star」とは、「マネジメント・コンポーネント」及び「ディベロップメント・コンポーネント」の2軸で絶対評価の上、双方とも得点率が50%以上の参加者へ与えられます。
- ※4. ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)とは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」です。

当社ESGの取り組み URL：<https://www.es-conjapan.co.jp/corp/esg/>
<本件に関する問合せ> 管理部 広報・IR担当 電話 03-6230-9308

以上